

経営実践の三大要点

提供日：平成 年 月 日



税理士法人大平経営会計事務所

〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字横山45番地の1
TEL:(0532) 53-5333(代) FAX:(0532) 53-5118

経営実践の三大要点

1. 目的

経営者の能力向上
管理者のリーダーシップの向上
社員の能力の向上

2. 対策の概要

経営実践の三大要点を知る。

3. 経営実践の三大原則

次の三つの原則を、常に意識的に実践することが必要である。

- ・ 第1原則 …… 目的をハッキリと
- ・ 第2原則 …… 重点主義
- ・ 第3原則 …… 反復継続

4. 要点及び留意事項

(1) 目的をハッキリさせることの効果

- ・ 実践しやすい
- ・ リーダーシップを取りやすい

(2) 重点主義の効果

- ・ 実践しやすい
- ・ 能力を集中することができる

(3) 反復継続の効果

- ・ 何事も繰り返し繰り返し経験をしなければ身に付かない
- ・ 確実に成果を上げる最も重要な条件である

経営実践の三大要点・説明資料

1. 目的をハッキリと

最も重要なことである。

目的をハッキリさせることは、要点が明らかになって成功の確立が高まる。

2. 重点主義

一見して複雑に見えることも、要点は少ない場合が多い。

実行や管理の方法等を重点主義とし、大勢に影響の少ないことを捨てる
ことである。

3. 反復継続

一度で実行できることは少ない。

同じことを何回も、何十回も繰り返すこと。これが成功への王道である。



1 . 目的をハッキリさせる

1 . 目的とは

“なぜ”“何のために”ということが目的である。

2 . 目的をハッキリさせることの必要性

目的がハッキリしていれば、言葉足らずや説明が上手でなくても、内容を正しく伝えることができる。

目的を明確にすることは、物事を成功させるための大きな要点である。

3 . 目的は具体的に示す

(1) 販売会議の目的

《必要な売上高を達成するため》とか

《回収率を高めるため》というように設定する

(2) 生産会議の目的

《生産能率を高めるため》とか《不良率を下げるため》等である

(3) 社員研修の目的

単に“社員の能力を向上するため”ではいけない

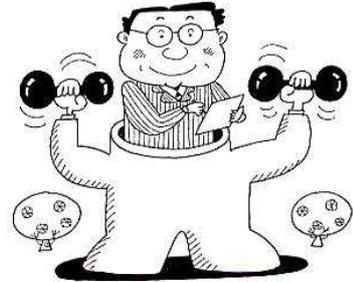
《社員の販売能力を向上させる》とか《商品知識を身につけるため》又は《作業能率の向上を図るため》等のように、内容をしぼって具体的に示すことが大切なことである



2 . 重点主義

1 . 重点主義とは

目的を達成するために最も必要な要点を重視し、それ以外のことは意識的に無視する方法をいう。



2 . 重点主義の必要性

(1) 人の能力には限界がある

誰でも完璧を要求することは無理である

《重要なことだけに徹すること》が能力の最大活用につながる

(2) 人間は“自己主張”をしたい動物である

細かなことまで命令や管理をされることを喜ぶ人はいない

“重点主義”は《やる気を起こす手段》でもあるのだ

3 . 要点は三つにしばる

(1) 三つに絞る

どんなに難しく複雑なことでも、要点は三つに絞ることである

三つ以上の要点を掲げれば、それは重点主義ではない

(2) “三”という数字は

人が実践しやすい最も良い数字であるといわれている

3 . 反復継続

1 . 反復継続とは

何回も何十回も、繰り返し繰り返し継続することをいう。

2 . 反復継続の必要性

- (1) 一度では実行できない
どのようなことでも1度で実行できることは少ない。
- (2) 目的を達成するためには
徹底的に同じことを繰り返すことである。



3 . 反復継続は意識的に行う

同じことを繰り返すと《くどい》という反発を受けやすい
しかし《くどいのが普通にすること》が必要なのだ

4 . 方法や手段を定型化する

《朝礼時に毎日行う》とか《毎週月曜日に実施する》というように決めてかかる
ことである

《定められた書類を用いる》のも一つの方法である

5 . インターバル方式を導入する

同じことを続けると必ずマンネリ化する
一定期間続けたら、少しの間休んでから再度開始することも有効な方法である